

## クリーン燃料アンモニア協会への参画について

当社は、水素のエネルギーキャリアとして有望視されているアンモニアに係るバリューチェーン構築を推進する新たな団体「クリーン燃料アンモニア協会(CFAA)」(以下、本協会)に、参画が決定(2021年4月1日より正式入会)しましたのでお知らせいたします。

### 1. 本協会の概要

団体名	一般社団法人 クリーン燃料アンモニア協会 (英語名: Clean Fuel Ammonia Association 略称 CFAA)
目的	CO <sub>2</sub> フリーアンモニアの燃料及び原材料として利用を中心としたバリューチェーンの構築を目指し、戦略の策定、関連技術開発及びその社会実装化に向けた取り組みを推進することにより、低炭素社会の実現に貢献する
理事企業	(株) IHI、宇部興産(株)、(株)JERA、住友化学(株)、東京ガス(株)、東洋エンジニアリング(株)、日揮グローバル(株)、丸紅(株)、三井物産(株)、三菱重工業(株)、三菱商事(株) (以上 11 社)
会員数	国内企業 67 社(2021.1.26 時点)他、外国企業、個人、機関

### 2. アンモニアサプライチェーンの中での当社の取り組み

当社は、これまで液化アンモニアタンクを国内外に建設してきた他、液化アンモニアと同様に氷点下の温度で貯蔵する LNG、LPG 等の燃料タンクを多数手がけております。今般、取りまとめられた「燃料アンモニア導入官民協議会 中間取りまとめ」において、事業者におけるアンモニア貯蔵技術への取り組みが期待されていることから、当社が有する大型タンク建設に関する豊富な経験や技術を活用し、発電用燃料などアンモニアの需要拡大に対応するべく、安全かつ大容量のタンク開発にこれからも努めてまいります。

本協会への参画を通じて、様々な参画事業者とともにアンモニアバリューチェーンを構築することで低炭素社会の実現を目指し、当社の強みを生かしたインフラに係る取り組みを積極的に推進してまいります。

(参考) 当社の気候変動対策に向けた取り組み

当社は、2019年に重要経営課題として、10項目のマテリアリティを設定し、統合報告書の発行等、当該事業内容の情報開示に努めてきております。10のマテリアリティの中で最重要課題は、「気候変動による事業環境変化に対する対応」であり、本協会への参画を通じて、課題解決に向けて取り組んでまいります。

○脱炭素社会の実現に向けた、当社が参加するイニシアティブ

1. 「チャレンジ・ゼロ」(経団連): <https://www.challenge-zero.jp/>

2. 「ゼロエミ・チャレンジ」(経済産業省): <https://www.meti.go.jp/press/2020/10/20201009002/20201009002.html>

【お問合せ先】コーポレート本部 執行役員 経営企画部長 國友 宏俊

TEL: 03-5857-3333

メールによるお問い合わせはこちらから <https://www.toyokanetsu.co.jp/contact/>